

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
入園説明会、進級説明会ではそれぞれのしおりを作成し、保護者に説明を行っている。特に保育方針・目標については、園のホームページでも詳細に説明し、保護者にも集まった機会には周知する様努めている。 理念については、園要覧の中に記述しているが、園運営を受託して満10年経過しようとするこの機会に、吉身保育園の積み上げてきた実績をベースに前途を広げる分かり易い理念の再作成を期待したい。 理念、保育方針・目標については、職員及び保護者へ更に周知徹底を期待したい。園だよりやクラスだより等毎号決まったところに掲載するなど工夫を望みたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
地域特性、保護者の経済事情の変化、国の政策変化への対応など把握をしたうえで、運営委託の仕様書の枠内で、予算案、計画案を市側に提出して承認を得ることが大前提にある。この条件下で良く対応して、子ども達の養護・教育を実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)数等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
運営法人本部こども未来事業部に相談し、その支援を得て対応力を高めてきている。ただ福祉人材の確保には、当分野の各施設と同じ厳しい状況下にあることは事実である。吉身保育園の特徴を生かした努力を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
運営委託事業を受託している立場にあり、意見・提言・要望は出来ても市側の中・長期ビジョン及び保育事業施設運営方針に従う立場にある。 本項目は評価不能としたい。			<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
単年度計画は、前年度の評価見直しの下、改善策も加えて新年度計画及び予算案を職員の協力の下作成し、市側に提出し、許可を得てスタートすることとなっている。 本項目も評価不能としたい。			<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
事業計画の経理面では、担当事務職員がおり、月毎、上半期で見直し、その後の月毎の見直しを経て年度末決算に至る。保育事業では、日案、週案、月案、上半期、年度末での見直し等自己評価を得て、次年度案作成に入る。見直しまり評価についての共通理解のレベルを上げていくことを目指している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
入園説明会、進級説明会の二つの重要な会で資料を基に、事業計画を説明し、欠席者には後刻個別説明会をもって周知徹底に努めている。その結果、運動会、祖父母お招き会等保護者が集まるイベントでは、参加数が多くうれしい悲鳴を上げている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
日案、週案、月案の作成は、PDCAを回す作業であり、乳児部会、幼児部会、支援部会(月1回開催)で対応策を検討し、必要場合は職員会議で報告し、全職員の共通認識となる。毎年第三者評価調査を受審し保育の質向上に努力している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
ヒヤリハット対応活動、降園時の担当から保護者へのメッセージ引継ぎ、安全点検簿の活用、保護者アンケートに基づき満足度の引き上げ方策など、各年度ごとに各課題に取り組み、成果を挙げてきている。今後も同様の活動継続による改善を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
園長の役割と責任は、職務分掌表に明記しており、新任の園長でもあったので、4月1日の職員会議で最初のスピーチで周知を図っている。現場中心、率先垂範をモットーに園全体を明るく、子ども達の笑顔を増やしていくことを目指している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
守山市園長会、運営母体の園長会などと連絡し合い、施設長研修会や勉強会に参加し情報入手や勉強を重ねている。新任園長の第一年目であり一挙に全部門の運営管理をベテラン並みに行うことは難しいが、先頭に立って頑張る姿は見事である。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
園に着任して、初年度であるが、毎月の職員会議の冒頭に園長の思いを職員に伝えている。現場重視の立場から、園児名を記憶し、毎朝園児と保護者への挨拶を率先垂範し、保護者の評価も高く明るい保育園の構築に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
新任の園長といっても昨年度までは主任として前園長をサポートしていただけに、準備は出来ていると思われるが、総て一挙に取り組むことは不可能であろう。着実に前進されることを期待したい。			<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
ホームページ上で、保育人材の募集確保につとめている。実習生の受け入れを通して、園の良き点を理解してもらい、就職先として吉身保育園を選択してもらえる機会を設けている。しかし、人材確保が困難な状況は続いている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等)に関する基準が明確に定められ、職員等に周知されている。
期待する職員信条はある。年2回の個人面談を通して、本人の将来の意向を確認している。保育に関する人事管理規程(人事基準)の整備及び個人毎の職歴・資格・研修受講経歴等をまとめ、キャリアパスを明確化した人事管理ファイルの作成が望まれる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
日々は「就業webシステム」により労務管理を行ない、有給休暇の取得・労働時間等の管理を行っている。自己申告のなかで、園長との個別面談を通して、職員の希望・思いを聴取し、働きやすい環境作りに反映している。自己申告書で現在の職務について、問うているが、職員によって適切、過負荷等と答えており、職務に負荷のパラツキが散見される。職務の習熟向上または負荷の分担等の配慮を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
「自己申告書」にて職員の現在の職務、自己評価、来期への個人目標、今後身に付けたい技能等を園長との個人面談で話しあっている。個人面談は年2回実施し、園長の記入面談項目で目標の達成度合いを確認している。職員信条はあるが、各職種（園長・主任・係長等）の目指すべき姿または経験年数に応じた姿を明確にした文書の作成を望みたい。			<input type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
保育計画で職員の資質向上の取組みを定め、研修の目的や意義を述べている。研修計画は全体研修・幼児研修・乳児研修、その他で構成している。研修受講記録がある。3部会からなる園内研究会があり、年度毎に研究主題を決め、部会で成果を年度末にまとめ、次年度の計画と保育に反映している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
期初に職員に受講したい研修の公募を行い、個人の希望を入れつつ年間研修計画を作成している。受講したテーマによっては研修内容を職員に発表する機会をもうけて、職員資質向上と保育現場での実践につなげている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
実習生受け入れマニュアルはある。実習プログラムは依頼先である大学で作成し、園長が確認し認可となっている。毎年受け入れ、実習記録がある。指導者に対する研修が望まれる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
ホームページ・入園のしおり等で理念や方針を示し、活動内容はブログで適宜発表している。毎年、第三者評価を受審し、結果は滋賀県のホームページに公表している。市役所には入園のしおりを置いている。地域の自治会に園便りを配布し、行事や各種支援事業の内容を知らせている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
保育園は洛和会と守山市と交わした「守山市立吉身保育園・分園管理運営業務仕様書」の契約に基づき保育業務を遂行している。経理規定に基づき、年度毎の決算報告書を作成し、洛和会全体で公開し、会計監査を受けている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	卒園児の祖父母などで構成されておりハッピーさんが、年間計画(10回)の中に組み入れ、常時5~8人との交流がある。調査時に「ハッピーさん」と子ども達が嬉しそうに取り囲む姿から日頃の交流の姿が伺える。月に1回、お話し会に来園、紙芝居や絵本の読み聞かせがある。学区民のお祭りや福祉の集いに3~5歳児が参加している。地域交流が継続される事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアマニュアルを整備、中学校の職場体験、高校生のボランティア活動を受け入れている。今後、地域のボランティアの来所要請やそのボランティアに対する定着率を上げ、且つ有効な活動になる様担当者の研修も年2回程度実施する計画を立てられるよう期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	守山市の保・幼・小・中との連携を取り、公民館、児童館とも地域の情報交換や行事交流を行っている。民生・児童委員と地域ネットワークがあり、お祭りや挨拶運動の参加がある。虐待や気になる子に対する連携先周知に努め、職員会議でも情報共有している。保育所として必要な関係機関や団体のリストを作成し、職員室内の見やすい所に掲示する事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 地域との関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	0~2歳児対象のさくらんぼサロンを週2回(1~12名参加)、2歳児対象のさくらんぼ教室(平均10組の親子)を月に1回行い、地域の保護者の子育ての悩み相談、遊びの提供を行っている。毎土曜日、1時間、園庭を開放し地域の子の遊び場として提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	地域の情報は市役所より得る事が多いが、自治会長より得る事もある。さくらんぼサロンやさくらんぼ教室参加者にアンケートを実施し、ニーズを拾い上げるようにしている。各保育園のサロンを利用している保護者からの情報も得る事が有る。市の要請により今年4月に開園した近隣マンション内の小規模保育園の園児と2歳児とが園庭で遊んだり、給食を共にする試みをしている。関係機関や団体、民生委員との連携を更に進め、地域のニーズを拾い上げる事を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価を行い、必要な対応を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			
<p>人権保育推進計画で謳い、幼児部会、乳児部会、支援部会の中で個々に合った保育を検討し実践している。年度末に評価し、次年度の計画に活かしている。人権ガイドラインを園に合わせ作成し、それを全職員で読み合わせそれに沿って実際に行われているか、改善する所がないか話し合い、保育を振り返る場を年に2~3回設けている。保育士からも読み合わせる事で、自身の保育を振り返る事ができると聞き取っている。園外人権研修を受講した職員は、職員会議で報告、復命している。人権だよりを年3回発行し子ども達の素朴なつぶやき、保育士や大人の言葉の掛け方、日常の中で大切な事を記載し配布している。</p>			
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 子ども虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input type="checkbox"/> ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
判断した理由・特記事項等			
<p>子どもの権利を保育に活かそうと人権ガイドライン（保育要覧に記載）を確認している。乳児トイレに仕切りを設け、着替えの場所には衝立を置き、見えない配慮がある。名前や写真が色々な所に流さない様に保護者にも写真の撮り方やSNSにアップしない様に声掛けしている。不適切な対応と感じた時は都度職員間で注意するようにし、クラス間でまず話し合い、結果を園長に報告、園長と当事者で話し合う様にしている。人権ガイドラインに、対処法を具体的に明示する事を期待したい。</p>			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 見学等の希望に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
判断した理由・特記事項等			
<p>ホームページを開設、市役所、各園にも入園のしおりを置いている。入園時、進級時にも資料を渡し説明している。園見学希望者には時間を調整し、口頭で説明したり保育現場や園の環境を直接見て頂き、質問には都度丁寧に答えている。(6月~9月の間、毎月4~11名の見学があった)</p>			
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input type="checkbox"/> ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 <input type="checkbox"/> オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
判断した理由・特記事項等			
<p>保育の開始時に年間計画を渡し、詳しく説明している。今までに急に変更した事例はなく、年度末に評価・検討を行い次年度に繋げて変更するようにしている。</p>			
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 <input type="checkbox"/> イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 <input type="checkbox"/> ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
判断した理由・特記事項等			
<p>転園先より求められた資料は、提出するように努めている。今年度は転出はあったが、転園はなかった。</p>			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所) <input type="checkbox"/> エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等にも出席している。(保育所) <input type="checkbox"/> オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所) <input type="checkbox"/> カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			
<p>保護者に利用満足度調査を実施し、それを基に職員間で改善点を話し合っている。音楽会や運動会等の保護者参加人数が次第に多くなってきて、部屋が狭いと意見があり、保育室を片付け広く使える配慮した事もあり、嬉しい悲鳴が上がってきている。保護者からの相談で個別に面談が必要と感じた時は適宜実施している。懇談会の記録で、何時も相談に乗って頂いているので、今困っている事は無いと言う保護者の言葉も見られた。</p>			

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決責任者、担当者を園長、主任とし第三者委員を社会保険労務士としている。園で解決できない事例は滋賀県社会福祉協議会で相談出来る体制を玄関ホールに掲示している。「入園のしおり」にも記載し入園時、進級時に配布説明している。去年、今年は第三者に苦情を申請する事例はなく、園直接に対する苦情申請も一切なかった。園長・主任で解決した事例を「園だより」などでプライバシーに配慮しつつ公表して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	玄関右側が職員室で、左のドアを開けると面談室に使用できる部屋として確保し、対応しやすく保護者にも周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	振興会(保護者会)が管理している意見箱やアンケート用紙を設置し、意見や相談に対応できる体制をとっている。保護者アンケートQ6の「保護者からの苦情や意見に対して園から懇談会や園だより個別面談」等を通じて説明があるかの問いに対しては、保護者の満足度は59%と肯定率は低く、他の項目は90%以上を占めている。苦情に関わる規定を用意し、相談があり次第園長、職員が迅速に対応しているため、「園だより」などで都度公開することで大きく改善するものと思われる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間が掛かる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	安全点検年間計画表があり、遊具・設備の担当者を決めている。園児安全の日を決め施設・遊具点検表で月2回点検を行っている。給食室の点検も毎日規定に記録されている。園長より同じ事故を起こさないように注意喚起を促す記録を確認、看護師が事故の統計を取り、曜日、時間帯、場所、種類等を分析、職員会議で報告し、それを基に職員一人ひとりが気づきを高める事で事故、再発防止の取り組み強化を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	保健マニュアルがあり、感染症対策には園長、主任、看護師が相談し対応をとっている。感染症発生時には市内情報システムで関係機関と連携が取れるようにしている。保護者には毎月の保健だよりで予防の仕方や、玄関ホワイトボードで最新の情報を伝えている。調査当日遊戯室でコンサートごっこ途中園児の嘔吐があり園長、職員は連携し保健マニュアル通りの見事な処理を行っていた。処理用具一式は各部屋に用意している。対応マニュアルの定期的見直しを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決まられている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害(地震)対応マニュアルを整備し、避難訓練を毎月1回火災、地震、不審者対応で行っている。避難場所を近隣小学校とし備蓄に於いても小学校に依存している。園としても最低3日分の食糧、水の確保を検討して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
入園時、進級時に「入園のしおり」を配布している。標準的な実施方法として「吉身保育園マニュアル手順書」がある。職員全員がいつでも閲覧できるファイル形式として作成し、その手順書を保護者の意見も考慮して、定期的見直しの下で、保育の質の向上に反映するよう活用を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
手順書は用意し、マニュアル作成時や変更時は差し替えを行っているが、定期的見直しの仕組みがなく、職員に周知徹底できていない部分が残っている。改訂版を作成し、全員に配布することを期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
指導計画はクラス職員が作成し幼児リーダー、乳児リーダーが確認後主任、園長が確認している。個別月案、児童票は各担当保育士が記入後主任園長が確認している。年間指導計画を基に月案、週日案を作り、1人ひとりの子どもに合った保育に活かしている。乳児部会、幼児部会、特別支援部会を毎月一回開き保育計画の検討、評価見直しを行い保育の実践に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
日案の評価に基づいて週日案に反映させ、週案、月案を評価反省し次月につなげている。年間指導計画は五期に別け、年齢別、異年齢別に目標・ねらいを設定、年度末に見直しと検討をし次年度につなげている。			<input type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
発達の姿や生活の状況を誕生月とその半年後に児童票に記録している。支援の必要な子どもの個別指導計画では両親の希望を聞き保育につなげている。毎月一回各クラスから全職員が子どもへの同じ対応が出来るよう共通理解の場として保育内容検討会を実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
個人情報保護の規定マニュアルを整備し、個人の記録は園外持ち出し禁止としている。パソコンの中で作業をし、データが無くならないよう共有ホルダーで保存している。書類関係の保存は5年でシュレッダーにかけ廃棄しており、記録の管理体制は確立していると判断する。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(全体的な計画の編成		自己 評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	伝統的な保育方法と地域との交流・保護者会（振興会と称する）支援を得て、保育園の理念及び保育目標に基づき、職員による定期的な見直しと評価を積み重ねて、全体的な計画を編成している。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己 評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室内は明るく加湿空気清浄機、空調で調整し心地よく過ごせる環境である。棚や机等で区切られたコーナーでは、絵本、ブロック、お絵かき、玩具等を棚から取り出し自分で遊ぶコーナーを選び移動している。手作り玩具は、各部会で年2回計画・作成している。子ども達一人ひとりの空間を意識させ、安心感を持って遊べる工夫をしている。手洗い場やトイレは清潔で、スリッパはきれいに並べている。毎月2回遊具・用具の点検をし砂場掘り起しも毎週実施している。職員の協力一致は見事である。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	個々の発達過程や家庭環境を記録し、気になる場面や対応については、部会別会議で相談検討し、月1回の保育内容検討会議で生活や遊びの様子を伝え合っている。表現の苦手な子どもが給食前トイレから帰り、手洗い後ペーパーの捨てる所を「まちがっているよ」と保育士が言うと「もう一度やり直したい」と急に泣きだした。保育士が分りやすく穏やかに話すると元の元気な笑顔を取り戻している。他のクラスからも保育士の大きな声は聞こえて来ない。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	2歳まで育児担当制を採用し、同じ保育士が日常生活動作を同じ場所で同じ手順で繰り返し行うことで、生活習慣を身につける援助を行っている。衣服を着替えるとき、なかなか出来ない子供にせかさず出来るまで見守っている。眠るのが遅く朝食抜きの子もある。"早寝・早起き・朝ごはん" 励行を保護者に働きかけてほしい。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	成長に合わせて遊んだり生活できる環境を見直している。吊下げ玩具の高さを調整したり、棚から自身で取り出せる工夫がある。園児全員が園庭で遊ぶのは危険が伴うので、園庭使用の仕方を工夫している。乳児が滑り台の階段を上る時、「此処をしっかり持ってね」と手を添えて繰り返し促す保育士の声掛けに顔きずすりを掴み登る姿がある。たてわり保育で年齢の違いを子ども一人ひとりが受け入れ、互いに教え合い思いやりや見てまねぶことが自然に出来るようになっていく。園庭で思いっきり遊び、鳩の森公園でどんぐり拾い、バス遠足（がんばりまめの社）、5歳児の目田川での自然とのふれあい等わくわくドキドキの感動体験となっている。また守山警察や運送会社の協力で交通安全教室、学区民生児童委員や振興会役員の協力でエコー（あいさつ運動）を行っている。子どもたちの「行ってきま～す・ただいま帰りました～」が飛び交っている。中学生の職場体験や高校生のボランティア、親しみを込めて呼んでいる「ハッピーさん」との世代間交流は地域の人と接する良い体験となっている。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

	判断した理由・特記事項等		イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	担当保育士の顔を見ると身体が前のめりになりハイハイのスピードが上がっている。個別指導計画で、一人ひとりの発達、発育、健康状態、配慮事項、環境、関わり方を記載している。月齢や発達の差が大きい乳児に合った玩具が取り揃え、それぞれが落ち着いて生活できる環境の整備をしている。日々の連携は連絡帳で行い、園での一人ひとりの様子を伝えている。保護者からは家庭での状況や相談事、嬉しい出来事が記入され、それに対する返事や喜ぶ言葉を伝え、共に成長を喜んでいることは素晴らしい。		ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
			エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	繰り返し行う日常生活援助を、担当保育士が同じ手順で同じ場所で行っている。「○○ちゃん、ご飯にしようか。お片付けしてからね」の声掛けに、玩具を所定の場所に戻し、手洗いで腰掛に座って待っている。「お待たせ。どうぞ」食事の椅子に座り、エプロン掛けをさりげなく整えて貰い、保育士からのメニュー紹介にうなずいている。他の子はそれぞれコーナーで遊んでいる。連絡帳で家庭の状況が把握出来ており、その子の状況に合わせた対応をしている。各コーナーに玩具や絵本を揃え、玩具は自身で取り出せる様になっている。複数で同じ遊びをしている子や、一人で静かに絵本を見ている子の姿もある。養護と教育の一体化が見事である。		ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
			ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	縦わり保育を行なっている中で、日常的に異年齢と関係を持っている。コンサートごとでは年長者が年下の子に対して、楽器の使い方を指導しているほほえましい光景が見られた。年齢別保育の時間も設けている。		ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9		⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	ア
	判断した理由・特記事項等		イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	個別の指導計画票を作成し、日々の行動や発言内容を毎日、記録に留め、成長過程の把握に努めている。市の巡回訪問を利用し、相談や助言をもらっている。特別支援部会があり、職員で情報の共有に努めている。縦割り保育のなかで友達と交わる事により、支援が必要な子の事を思いやる心を育てている。加配担当職員が配置され、一人ひとりに細やかな観察と適切な支援を行なっている。市や関係医療機関の支援を受けて情報共有に努めている。		ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	長時間保育では各異年齢クラスで17:45まで好きな遊び「積み木、絵本、あやとり、かるたなど」でゆったりと遊んでいる。引き継ぎ保育士も入り、順次お迎えの保護者に連絡事項を伝えている。各クラスに連絡ファイルがあり日付、記載者名、内容確認者、家族への報告者それぞれに確認印があり引き継ぎ職員に口頭でも伝達し連絡漏れを防いでいる。その後かばんや上衣を持って1つの部屋に集まり18:00に補食程度のおやつとお茶を提供している。並んで一階の乳児部屋へ移動し延長保育に入り乳児を交え10人程がお迎えを待っている。しばらく話が出来ていない家族には担任がなるべく会って話すように努めているが、更に話の苦手な保護者には積極的に働きかけてほしい。		ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	市の就学前教育協議会で保、幼、小の連携を取り就学がスムーズに行くよう情報交換している。1年生と5園児の交流、5年生と5歳園児の交流を行っている。担任保育士の記入印と園長の確認した保育所児童保育要録を就学時に子どもの情報として学校に渡している。こうした活動の情報共有に努めて保護者の不安感を取り除いている。		ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3)	健康管理	自己評価結果	イ	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

	判断した理由・特記事項等	☑	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。	
	乳幼児健康管理マニュアル・保健マニュアルを作成し、子どもや保育士の健康管理を行っている。看護師が常駐し怪我・体調不良・異変時に適切な対応が行われ保育士、保護者の安心につながっている。保育士は緊急時の対応について研修を受講し拾得して居る事を調査時の子どもの対応で確認した。登園時、視診や保護者との連携により体調不安時は園長や看護師に連絡し保護者にも丁寧に説明し適切な対応をしている。感染症情報システムを使い、インターネットで情報を共有したり、保護者にも連絡ボードや保健便りでの最新の感染症情報を伝えていく。SIDSに対しては、2歳の誕生日が来るまでは、睡眠時チェックを基に安全を確保している。健康診断を年2回、歯科検診年1回実施している。以上の通り子どもの健康管理は専任看護師のもと適切に実施していることを確認した。	☑	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。	
		☑	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。	
		☑	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。	
		☑	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。	
		☑	キ	職員に乳幼児突然死候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。	
		☑	ク	保護者に対し、乳幼児突然死候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	☑	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。	
	健診結果や医師からの留意事項は保護者に伝え共有している。歯磨き指導やフッ素塗料を行って子どもの歯はみな美しい。	☑	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	☑	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	
	食器の材質や形などに配慮している。緊急時の対応として「エビペン」を看護師主導の下全職員が使用できるよう「デモキット」で園内研修を実施している。保護者が給食メニューと同じように作ったお弁当を給食室に預け保温し、保育士が誤食のないようピンクトレーに盛り付け配膳している。机は別にして保育士が横で見守り御代わりもしている。多様なアレルギー発生が見られる現状では、関係部署の協力一致が不可欠であり、看護師をリーダーとする現状の体制維持を期待したい。	☑	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	
		☑	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。	
		☑	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。	
		☑	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	
A-1-(4) 食事		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	☑	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。	
	毎月給食だよりを配布し園独自のメニューで提供している。各クラスに炊飯器を置き、湯気やごはんの炊ける臭いを感じ食べる意欲につなげている。子どもたちがテーブルカバーを掛け各自でお茶を用意し、異年齢3人の当番が当日の給食メニューを紹介している。保育士は子ども一人ひとりに合った盛り付けをし、その間子どもたちはコーナーでもう一人の保育士から絵本を読んでもらい静かに配膳を待っている。各机に異年齢で座り笑顔一杯のにぎやかな食事風景で、あちこちでおかわりをしている。各クラスで野菜の苗を植え、成長過程を見守り収穫の時期や食べ物の喜びを味わう為の食育の取組を行っている。毎月の献立表「もりもりだより」を配布し保護者にも食事の大切さを伝えている。保護者の関心も高くメニューを家庭でも使用する等、園の食育活動は高い評価を得ている。	☑	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。	
		☑	エ	食器の材質や形などに配慮している。	
		☑	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	
		☑	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。	
		☑	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。	
		☑	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。	
	園で収穫した野菜を給食の食材に取り入れ、子どもたちが楽しく食事ができるよう各地の郷土料理を味めぐりとして紹介し、アゴや歯を使って噛む習慣を付ける「カミカミメニュー」を採用している。出汁は昆布とかつお煮干しを使っている。12月は高知県めぐりでひじきのサラダは大好評で残食はなかった。検査は2つ用意し園長・主任・看護師で行っている。衛生管理は日常衛生点検表があり適切に点検・管理を行っていることを確認している。	☑	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。	
		☑	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。	
		☑	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。	
		☑	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	
		☑	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	☑	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等	☑	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。	
	連絡帳や送迎時の情報交換、懇談会時にビデオで日常の姿を見て貰い、新入保護者には保育参加を行う等、子どもの成長の見通しを持ってもらう機会を作っている。クラス懇談会、個別懇談会は年に数回実施し、保護者との相互理解を図っている。	☑	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。	
		☑	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	

第三者評価調査結果報告表（守山市立吉身保育園）2019年度版

18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	クラス便りで全体の様子を知らせ成長を共有し、コミュニケーションを図っている。送迎時に子どもの様子を伝え合い、悩みや相談に乗るようにし、必要に応じて面談している。気に掛けた子等の対応について、クラスで午睡時に状態を伝えあい、保育内容検討会や職員会議で相談し全職員が同じ対応が出来る様、共通理解の場としている。コミュニケーションが苦手な保護者に対して、保育士からの積極的な声掛けで、更なる連携と支援を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待対応マニュアルがあり職員研修を実施している。虐待の恐れがある子供に対して、登園時の時間・様子・付き添い者名を毎日観察し記録に留め、職員が情報を共有している。研修を受けることで、対応方法を学び外部機関との連携を強化できる職員育成を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	保育内容検討会にて保育の実践計画を作成し、職場、グループ単位で毎月検討討議を行なって保育の向上に努めている。「保育園セグメント評価」で自己評価を年2回実施している。それを基にして園長と個別面談を行ない、資質の向上に努めている。PDCAサイクルのスピードと精度を高める様、全職員の協力一致を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。